

高砂香料工業株式会社

2025年3月期 第2四半期(上期) 決算説明会

証券コード:4914

2024.11.20

目次

- I. 2025年3月期 上期業績
- II. 2025年3月期 通期業績予想
- III. 海外トピックス
- IV. 統合報告書
- V. Appendix

I. 2025年3月期 上期業績

2025年3月期 上期業績

[単位：億円]

	2024/3 上期業績	2025/3 上期業績	前期比	為替影響除く 前期比
売上高	986	1,136	+15.2%	+6.6%
売上総利益 売上総利益率	279 28.3%	391 34.4%	+40.3% +6.1P	— —
販売管理費	264	311	+18.1%	—
営業利益 営業利益率	15 1.6%	80 7.0%	+422.3% +5.5P	+401.9% —
親会社株主に帰属する 当期純利益	21	49	+129.8%	—
E B I T D A	51	120	+134.0%	

期中平均為替レート USD : 135円 152円 +17円
 EUR : 146円 165円 +19円

Point!

売上高：欧米向け医薬品中間体の出荷増、海外セグメント好調
 売上総利益率：製品構成・販売価格・原材料購入価格の最適化を通じて売上総利益が改善
 営業外損益：前期 為替差益17億円、今期 為替差損14億円

地域セグメント

[単位：億円]

	売上高				営業利益			
	2024/3 上期業績	2025/3 上期業績	前期比	為替影響 除く 前期比	2024/3 上期業績	2025/3 上期業績	前期比	為替影響 除く 前期比
日本	378	372	△1.6%	-	6	40	+586.8%	-
米州	253	336	+32.9%	+17.0%	2	19	+819.8%	+708.3%
欧州	156	196	+26.0%	+11.3%	△7	13	-	-
アジア	200	232	+16.3%	+5.3%	13	19	+44.2%	+33.8%
調整	-	-	-	-	1	△10	-	-
合計	986	1,136	+15.2%	+6.6%	15	80	+422.3%	+401.9%

Point!

日本：アロマイングリディエント事業での製品構成の最適化やファインケミカル事業での売上増加を主因として利益率が改善

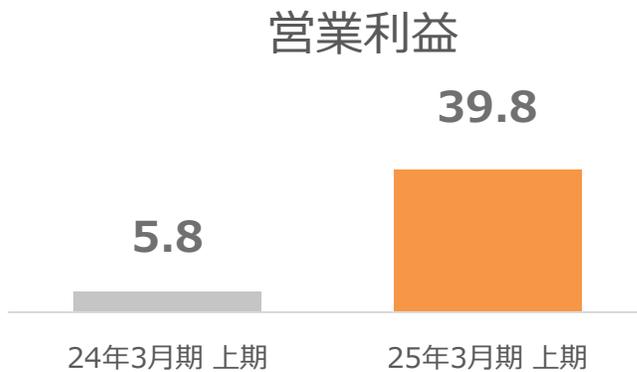
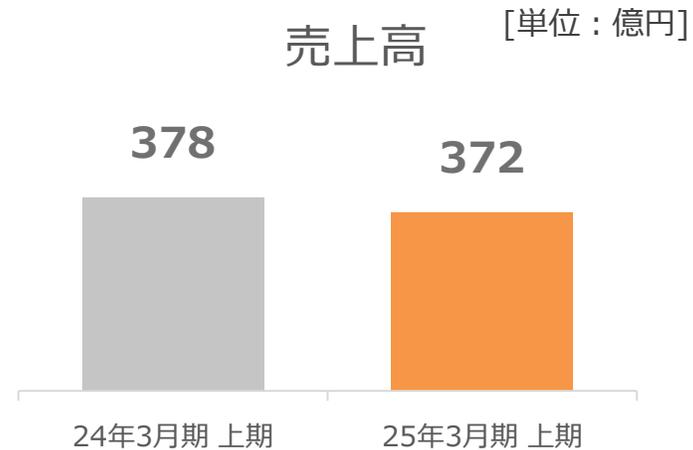
米州：前期末に発生した出荷調整が概ね改善。ファインケミカル事業の売上増加

欧州：製品構成・販売価格・原材料購入価格の最適化を通じて売上総利益が改善

アジア：インドネシア子会社、中国子会社が好調に推移

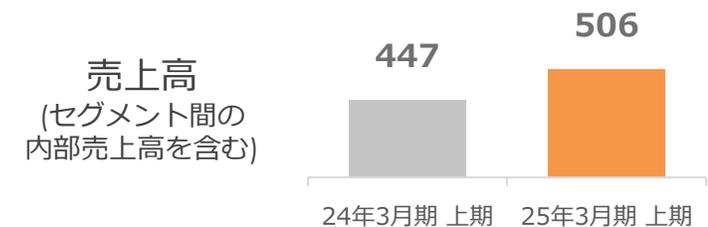
調整：セグメント間取引に係る米国子会社の製品在庫増により未実現利益の消去額が増加

地域セグメント(日本)



- **売上高△1.6%**

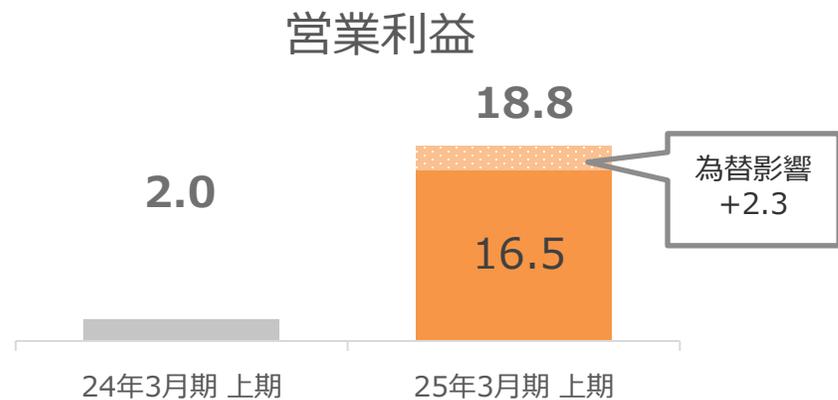
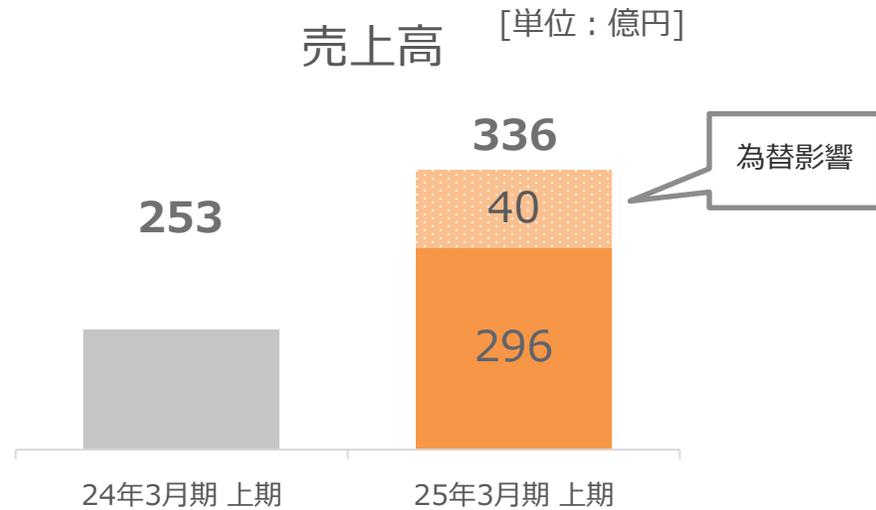
- フレーバー事業：飲料関連等が堅調に推移
- フレグランス事業：ランドリーケア関連等が堅調に推移
- アロマイングリディエーツ事業：外部顧客への売上、セグメント間の内部売上ともに好調に推移
- ファインケミカル事業：米国子会社を經由して販売している医薬品中間体が好調に推移し、セグメント間の内部売上が伸長。
(一部、前期末に出荷調整中であった大型案件の販売が今期に確定)
一方、日本国内向け売上高が低調に推移し、外部顧客への売上高が減少。



- **営業利益+586.8%**

- アロマイングリディエーツ事業での製品構成の最適化やファインケミカル事業での売上増加を主因として親会社の利益率が改善

地域セグメント(米州)



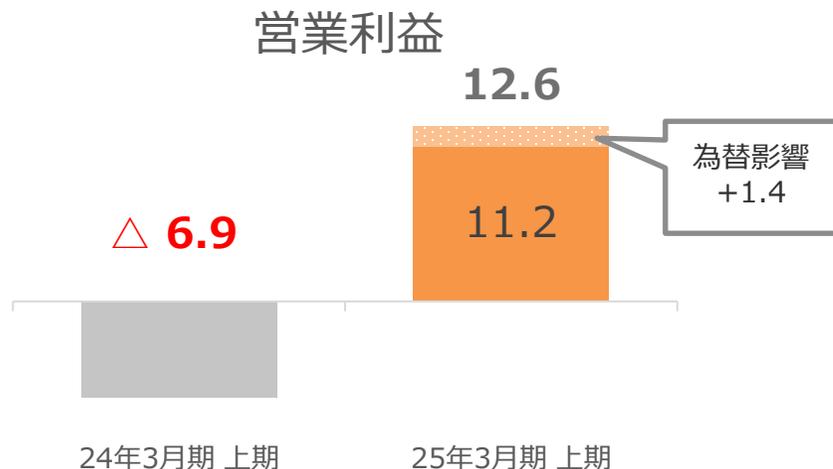
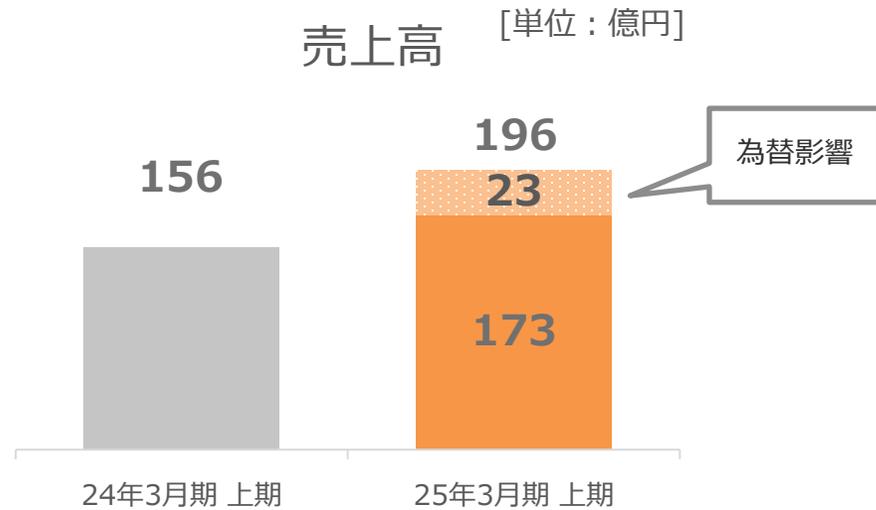
- **売上高+32.9%**

- 前期末に米国子会社で新基幹システム導入に伴い発生した出荷調整が当期上期までに概ね改善
- ファインケミカル事業の医薬品中間体が好調に推移

- **営業利益+819.8%**

- 製品構成・販売価格・原材料購入価格の最適化を通じて売上総利益が改善

地域セグメント(欧州)



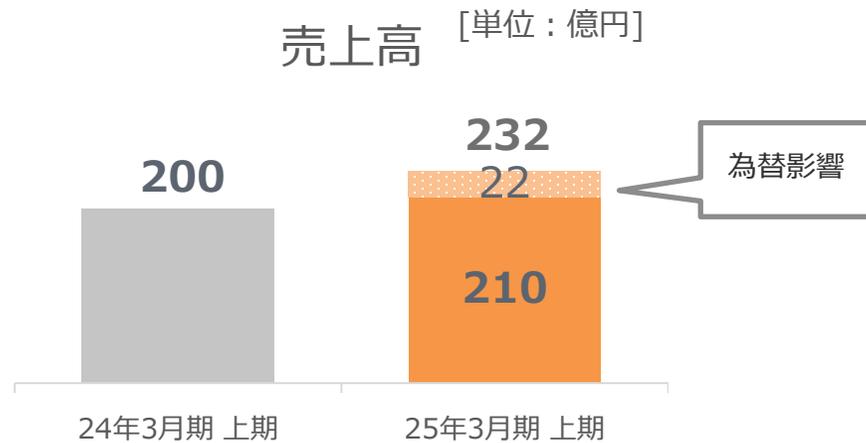
● 売上高+26.0%

- フレーバー事業：アフリカ市場向けセイボリーの好調により増収
- フレグランス事業：ファブリックケア、ファインフレグランス関連の好調により増収
- アロマイングリディエント事業：スペシャリティ・コモディティともに販売数量増加により増収

● 営業利益 黒字転換

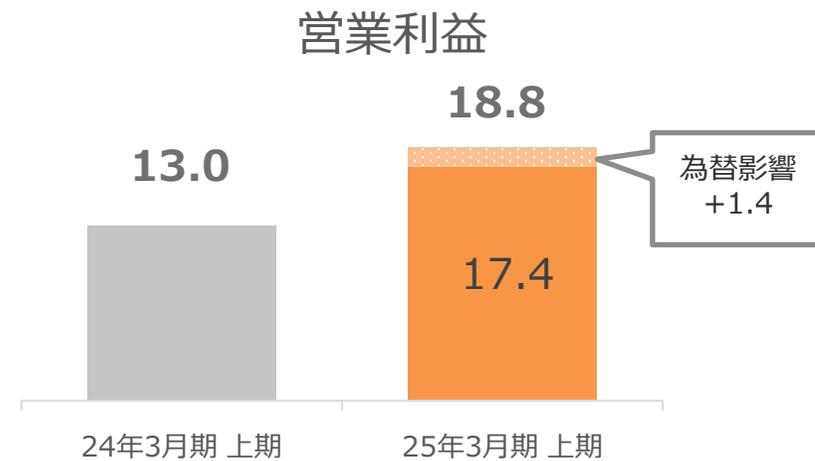
- 製品構成・販売価格・原材料購入価格の最適化を通じて売上総利益が改善

地域セグメント(アジア)



- **売上高+16.3%**

- 中国：飲料関連が好調に推移
- 東南アジア：インドネシア子会社の新規製品獲得が増収に貢献



- **営業利益+44.2%**

- 製品構成・販売価格・原材料購入価格の最適化を通じて売上総利益が改善

事業セグメント

[単位：億円]

	売上高				営業利益			
	2024/3 上期業績	2025/3 上期業績	前期比	為替影響 除く 前期比	2024/3 上期業績	2025/3 上期業績	前期比	為替影響 除く 前期比
フレーバー	564	607	+7.6%	+1.1%	15	30	+93.7%	+75.8%
フレグランス	293	364	+24.5%	+12.5%	△15	6	-	-
アロマイング リディエンツ	62	80	+30.6%	+21.4%	3	14	342.3%	353.3%
ファイン ケミカル	60	77	+28.2%	+15.1%	5	24	336.7%	336.4%
その他	7	7	+0.3%	+0.3%	6	6	△1.2%	△1.2%
合計	986	1,136	+15.2%	+6.6%	15	80	+422.3%	+401.9%

Point!

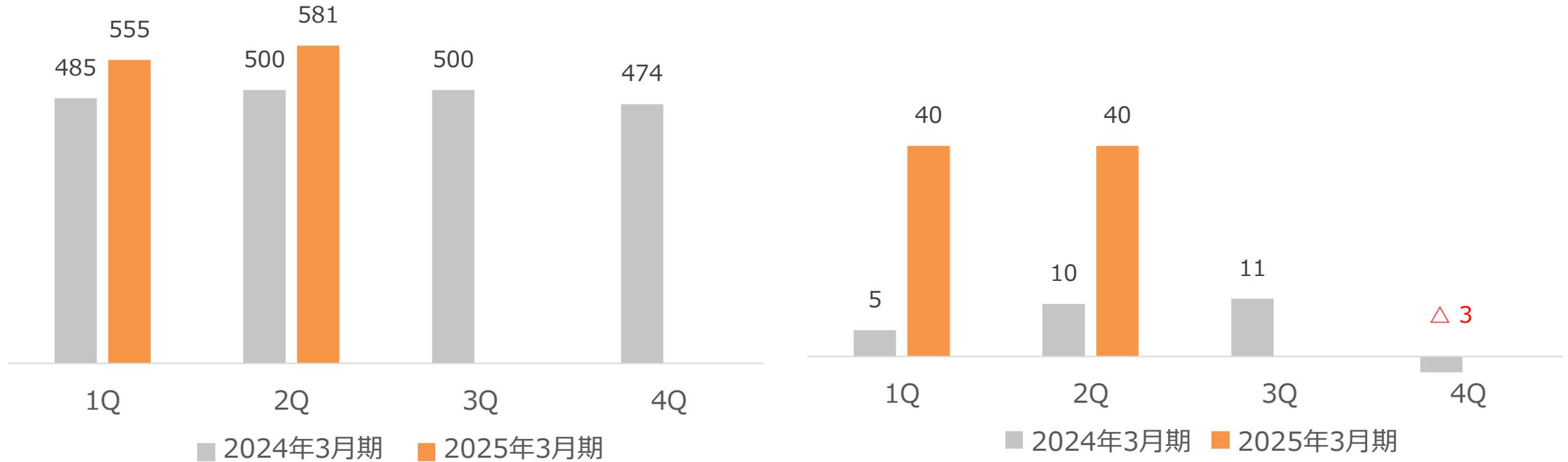
フレーバー：米州の飲料、欧州のアフリカ向けセイボリーが好調に推移
 フレグランス：米州のエアケア、インドネシア子会社のファブリックケア等が好調に推移
 アロマイングリディエンツ：コモディティ、スペシャリティともに好調に推移
 ファインケミカル：欧米向け医薬品中間体の出荷が増加

四半期決算推移

[単位：億円]

売上高

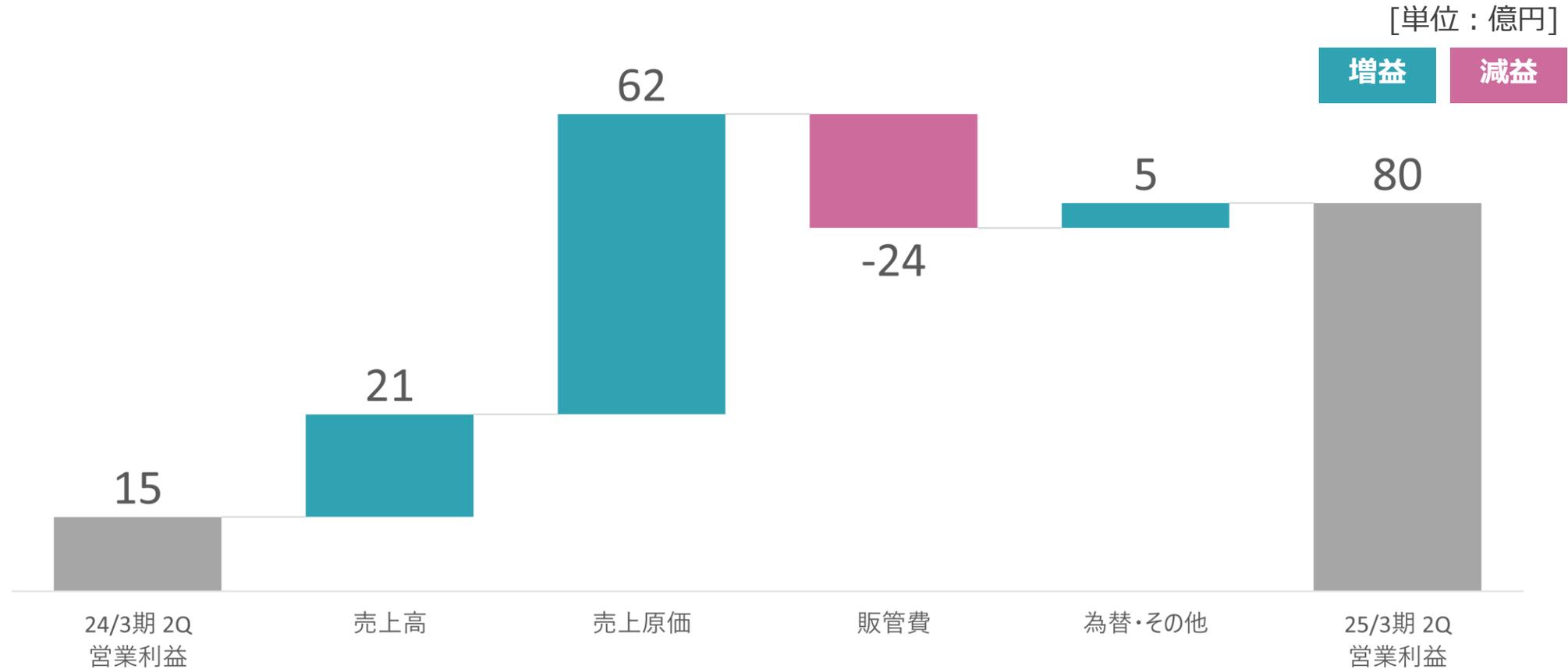
営業利益



Point!

売上高：米州、アジアセグメントが好調に推移し、対今期1Q比で増収
営業利益：1Qに続き、製品構成・販売価格・原材料購入価格の最適化を通じて
売上総利益が改善

営業利益の増減分析



Point!

売上高：全事業セグメントで増収を達成

売上原価：製品構成・販売価格・原材料購入価格の最適化を通じて売上総利益が改善

販管費：人員強化や、インフレによる各種経費の増加。ほぼ計画通りの進捗

II. 2025年3月期 通期業績予想

為替の前提、感応度

● 為替の前提

	2024/3 通期実績	2025/3 通期予想	前期比
U S D	141円	149円	+8円
E U R	152円	163円	+11円

● 為替感応度 (1円円高/円安のケース)

● 売上高に対する影響

- USD = 約6億円減収/増収
- EUR = 約3億円減収/増収

● 営業利益に対する影響

- USD = 約20百万円減益/増益
- EUR = 約10百万円減益/増益

2025年3月期 通期業績予想

[単位：億円]

	2024/3通期業績	2025/3通期予想 (2024/11/8時点)	前期比
売上高	1,959	2,200	+12.3%
営業利益 営業利益率	23 1.2%	100 4.5%	+331.8% +3.3P
経常利益	47	110	+133.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	27	80	+196.5%
E B I T D A	101	180	+78.2%
R O E	2.2%	5.9%	+3.7P

期中平均為替レート

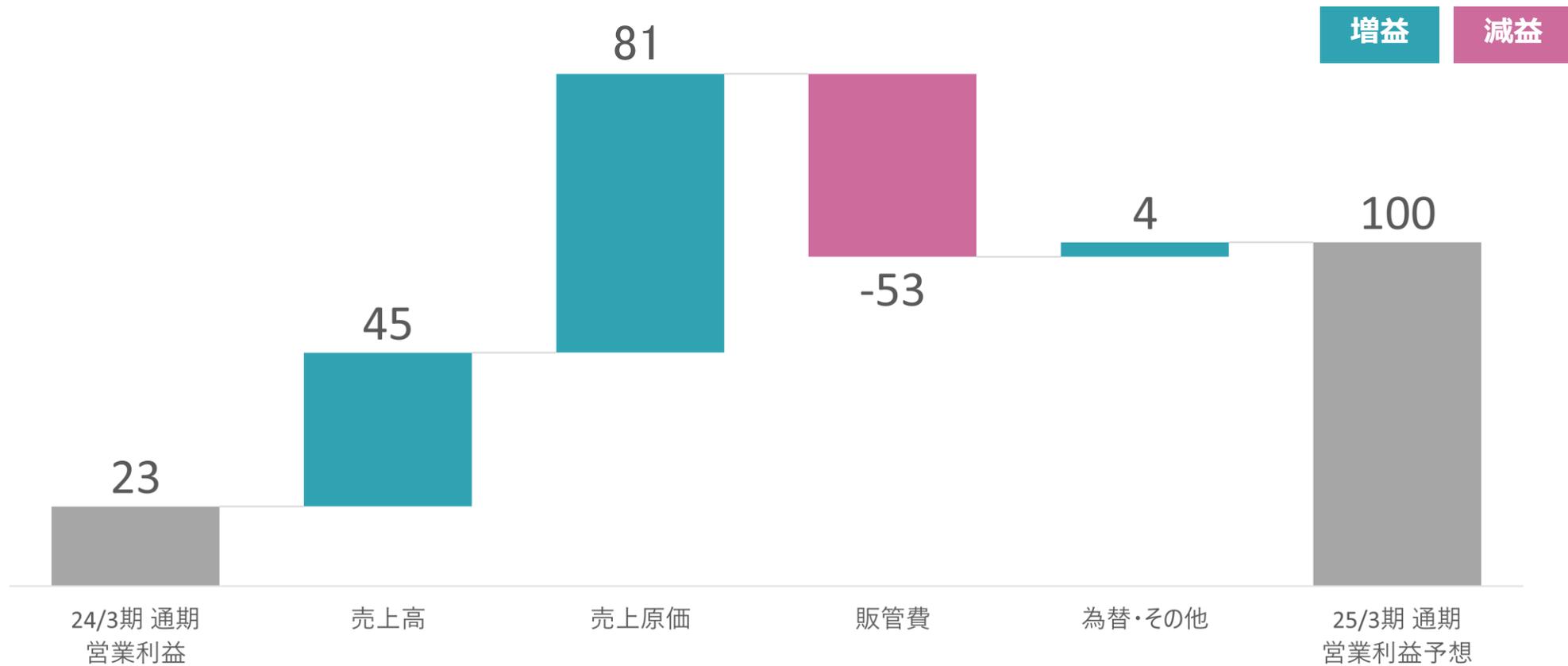
USD :	141円	149円	+8円
EUR :	152円	163円	+11円

Point!

売上高：海外におけるビジネスの拡大、円安による為替換算影響により増収
営業利益：高付加価値品の販売増加、原材料価格の落ち着き等により増益

営業利益の増減分析

[単位：億円]



Point!

- 海外ではフレーバー・フレグランスビジネスが拡大し、医薬品中間体の出荷が伸長
- 製品構成の最適化・販売価格・原材料購入価格の最適化を通じて売上総利益が改善
- 業容拡大により販管費が増加。一定の販管費率をキープ

地域セグメント

[単位：億円]

	売上高			営業利益		
	2024/3	2025/3予想 (2024/11/8時点)	前期比	2024/3	2025/3予想 (2024/11/8時点)	前期比
日本	723	749	+3.5%	14	25	+78.9%
米州	503	631	+25.4%	2	23	+1370.3%
欧州	333	374	+12.5%	△12	18	-
アジア	400	445	+11.3%	22	34	+53.0%
調整・その他	-	-	-	△2	0	-
合計	1,959	2,200	+12.3%	23	100	+331.8%

Point!

日本：合成品の製品構成最適化、欧米向け医薬品中間体の伸長を通じて利益が増加
米州：米国子会社での増収により売上総利益が拡大
欧州：欧州各社で製品構成・販売価格・原材料購入価格の最適化を通じて収益性が改善
アジア：東南アジア・中国子会社で増収の他、原材料価格の最適化により売上総利益が増加

事業セグメント

[単位：億円]

	売上高			営業利益		
	2024/3	2025/3予想 (2024/11/8時点)	前期比	2024/3	2025/3予想 (2024/11/8時点)	前期比
フレーバー	1,092	1,167	+6.9%	12	31	+173.2%
フレグランス	627	715	+14.1%	△14	11	-
アロマイングリ ディエーツ	130	135	+3.6%	9	16	+82.96%
ファイン ケミカル	97	169	+74.6%	4	29	+599.2%
その他	14	14	±0%	12	12	±0%
合計	1,959	2,200	+12.3%	23	100	+331.8%

Point!

フレーバー：米国での飲料、東南アジアでのセイボリー向けフレーバーの販売数量増加
 フレグランス：米州でのエアケア、欧州でのファインフレグランスの伸長
 アロマイングリディエーツ：外部向け・グループ内向けのスペシャリティ品が共に堅調
 ファインケミカル：欧米向け医薬品中間体の販売数量増加

業績予想の修正について（増減要因）

[単位：億円]

	2025/3予想 (2024/5/15開示)	2025/3予想 (2024/11/8時点)	前回対比
売上高	2,050	2,200	+150 +7.3%
売上総利益 売上総利益率	635 31.0%	719 32.7%	+84 +1.7P
販管費 販管費率	595 29.0%	619 28.1%	+24 △0.9P
営業利益 営業利益率	40 2.0%	100 4.5%	+60 +2.5P

為替レート

USD :	140円	149円	+9円
EUR :	150円	163円	+13円

● 売上高

- 海外のフレーバー・フレグランスが堅調に推移
- 欧米向け医薬品中間体の出荷が増加
- 為替換算による増収

● 売上総利益

- アロマイングリディエントズでの製品構成の最適化を推進
- ファインケミカルでの売上増加により親会社の利益率が改善
- 調合香料向け原材料費の低減

● 販管費

- 各拠点の現地通貨ベースで計画どおり進捗
- 為替換算により増額

業績予想の修正について（地域セグメント別）

		2025/3予想 (2024/5/15開示)	2025/3予想 (2024/11/8開示)	増減額
		(A)	(B)	(B-A)
日本	売上高	749	749	0
	営業利益	3	25	22
米州	売上高	548	631	84
	営業利益	7	23	16
欧州	売上高	337	374	37
	営業利益	5	18	13
アジア	売上高	416	445	29
	営業利益	25	34	9
調整・その他	売上高	-	-	-
	営業利益	0	0	0
合計	売上高	2,050	2,200	150
	営業利益	40	100	60

[単位：億円]

Point!

日本：合成品の当社グループ向け輸出といった高付加価値製品の出荷が上期に増加
 下期は飲料向けフレーバーや、合成品の輸出が減少する見込み
 海外：米国子会社では、調合香料の出荷調整により上期の売上高が増加
 フレーバー・フレグランスの販売は下期後半にかけて減少する見込み

業績予想の修正について（事業セグメント別）

		2025/3予想 (2024/5/15開示)	2025/3予想 (2024/11/8開示)	増減額
		(A)	(B)	(B-A)
フレーバー	売上高	1,111	1,167	55
	営業利益	15	31	16
フレグランス	売上高	648	715	67
	営業利益	△8	11	18
アロマイングリ ディエーツ	売上高	122	135	13
	営業利益	7	16	10
ファインケミカル	売上高	154	169	15
	営業利益	13	29	16
その他	売上高	14	14	0
	営業利益	12	12	△0
合計	売上高	2,050	2,200	150
	営業利益	40	100	60

[単位：億円]

Point!

フレーバー：米国での飲料、東南アジアでのセイボリー向けフレーバーの販売数量増加
 フレグランス：米州でのエアケア、欧州でのファインフレグランスの伸長
 アロマイングリディエーツ：外部向け・グループ内向けのスペシャリティ品が共に堅調
 ファインケミカル：欧米向け医薬品中間体の販売数量増加

設備投資・減価償却費・研究開発費

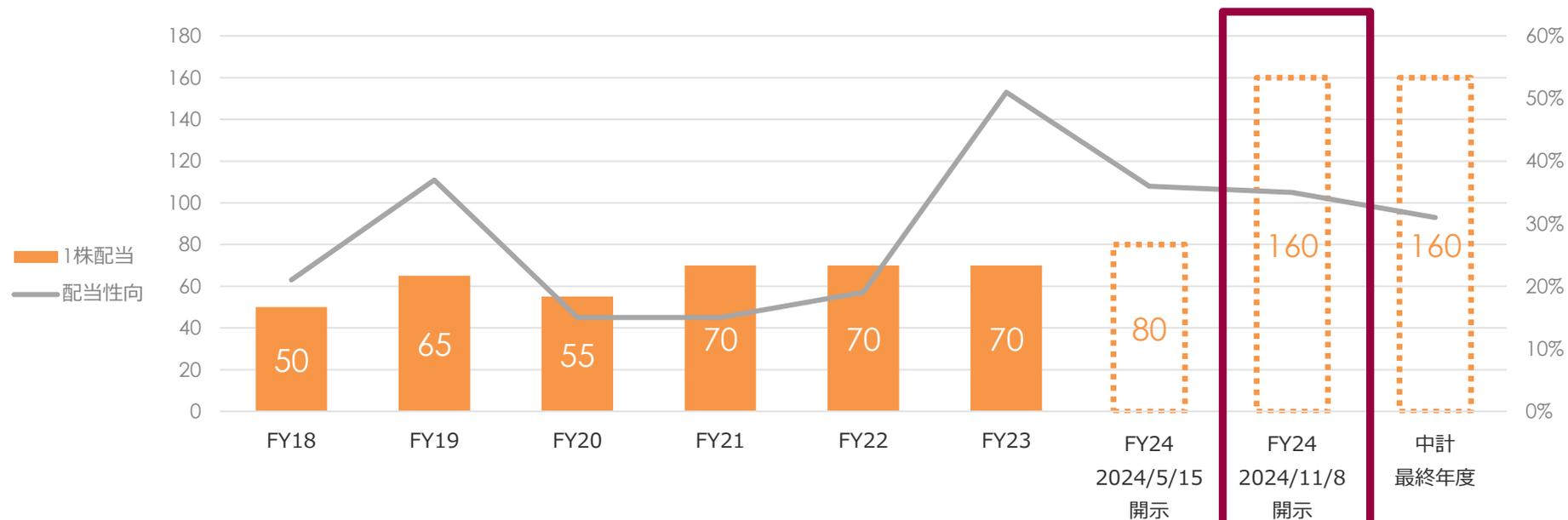
[単位：億円]

	2022/3 実績	2023/3 実績	2024/3 実績	2025/3 予想
設備投資	80	82	105	110
減価償却費	69	74	79	80
研究開発費	129	142	157	170
売上高研究開発費率	7.9%	7.6%	8.0%	7.7%

Point!

設備投資：磐田工場のファインケミカル設備増強に関する建設仮勘定を含む
減価償却費：海外拠点における新基幹システム導入費用等有るものの横這い
研究開発費：海外での人員増強、為替換算影響により増加

株主還元



1株配当(円)	50	65	55	70	70	70	80	160	160
配当性向(%)	21	37	15	15	19	51	36	39	31
DOE(%)	1.0	1.4	1.1	1.3	1.2	1.1	1.2	2.3	2.2

Point!

- FY2024の連結業績が当初計画を大幅に上回ることを踏まえ、必要な資金需要を総合的に勘案した結果、1株配当を年間160円に修正
- 中計で掲げた株主還元目標である配当性向30%以上、DOE2.0%以上となる見込み

Ⅲ. 海外トピックス

インドにフレグランスセンターを開設



- 施設名
 - Takasago International India Fragrance Centre (TIIFC)
- 所在地
 - Mumbai, India
- 開設年月
 - 2024年4月
- 事業内容
 - 研究開発、販売、マーケティング活動からなるフレグランス事業機能
- 背景・目的
 - 人口と経済が急成長するインドにおいて、フレグランス製品のニーズが高まっている
 - フレグランスビジネスにおける有力な顧客はムンバイを拠点として活動している
 - 最新鋭の設備と研究所を備えた施設を建設することで、現地顧客とより密接に連携し、現地の嗜好に合わせた製品の製造が可能となる
 - 環境に配慮した取り組みにも注力し、当社の持続可能性に貢献

ドイツ拠点に品質保証棟を新設



- 施設名
 - Takasago Europe GmbH "QA1"
- 所在地
 - Zülpich, Germany
- 開設年月
 - 2024年5月
- 機能
 - 製造、調合、アプリケーション、販売・マーケティング活動からなるフレーバービジネス機能
- 背景・目的
 - Takasago Europe GmbH（高砂ドイツ）はヨーロッパのみならず、中東、アフリカへフレーバー製品を供給している
 - 品質保証部門と研究部門の強化により、これまで以上に安全安心な製品を顧客へ供給できる体制を確立することで海外におけるフレーバービジネスの拡大を図る

IV. 統合報告書

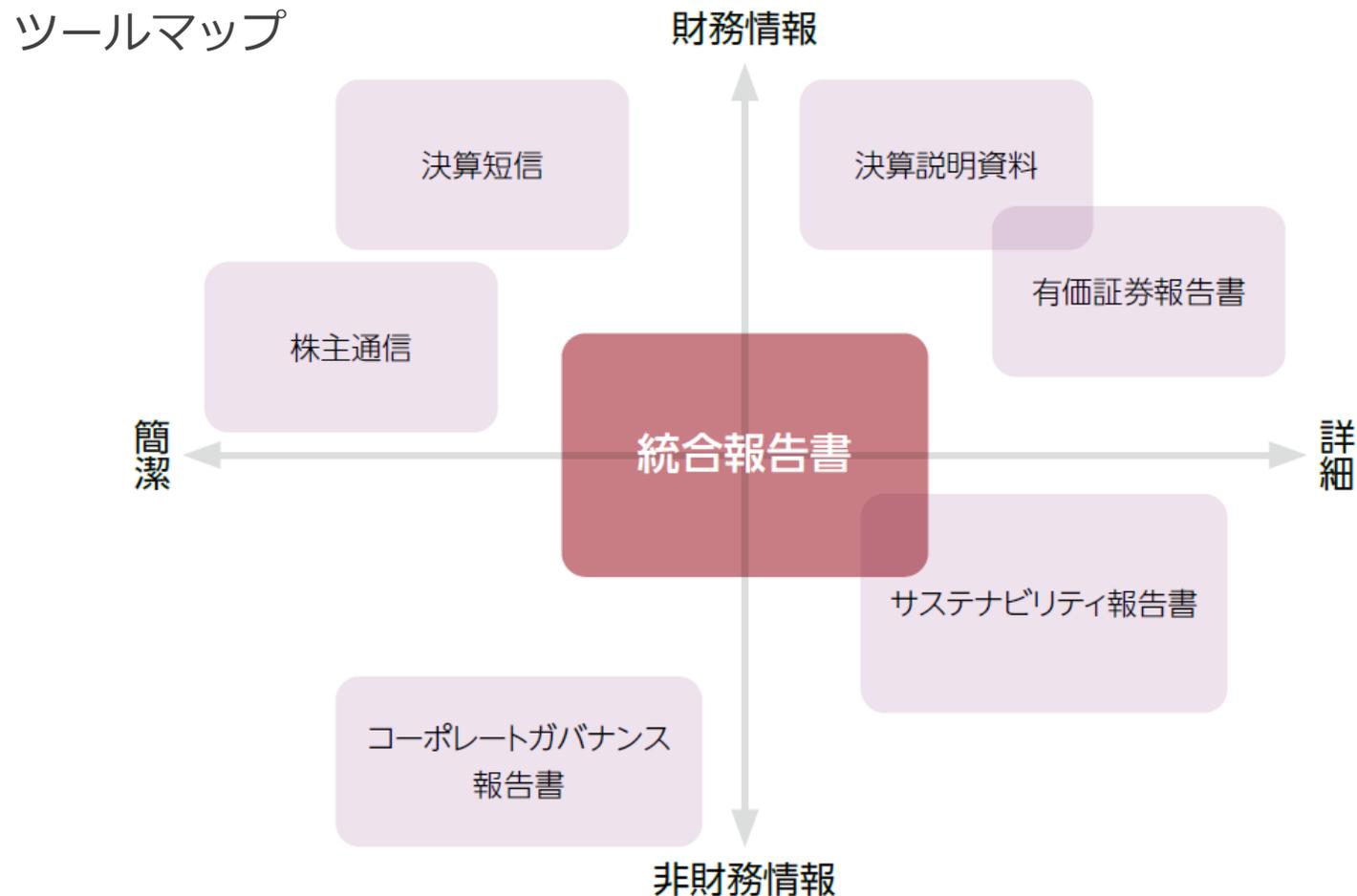


発刊の概要・目的

- ・発行日 2024年10月30日
- ・報告期間 2023年度(2023年4月～2024年3月)
- ・報告範囲 高砂香料工業株式会社およびグループ会社
- ・参考 IIRC 国際統合報告フレームワーク
経済産業省「価値協創ガイダンス」
- ・発行目的 中期経営計画や持続可能な成長に向けた経営戦略をはじめ、
価値創造プロセスや人的資本の価値最大化に向けた当社の取り組みを、
ステークホルダーの皆様によりわかりやすくお伝えすること

統合報告書の位置づけ

価値創造プロセスと人的資本に焦点を当て、財務・非財務情報の「統合」を目指した



INDEX

高砂香料とは

- ・ トップメッセージ
 - ・ 価値創造プロセス
- 等

成長戦略

- ・ NGP-2の概要
 - ・ 投資戦略と還元方針
- 等

サステナビリティの推進

- ・ サステナビリティ戦略
 - ・ マテリアリティ
- 等

ガバナンス

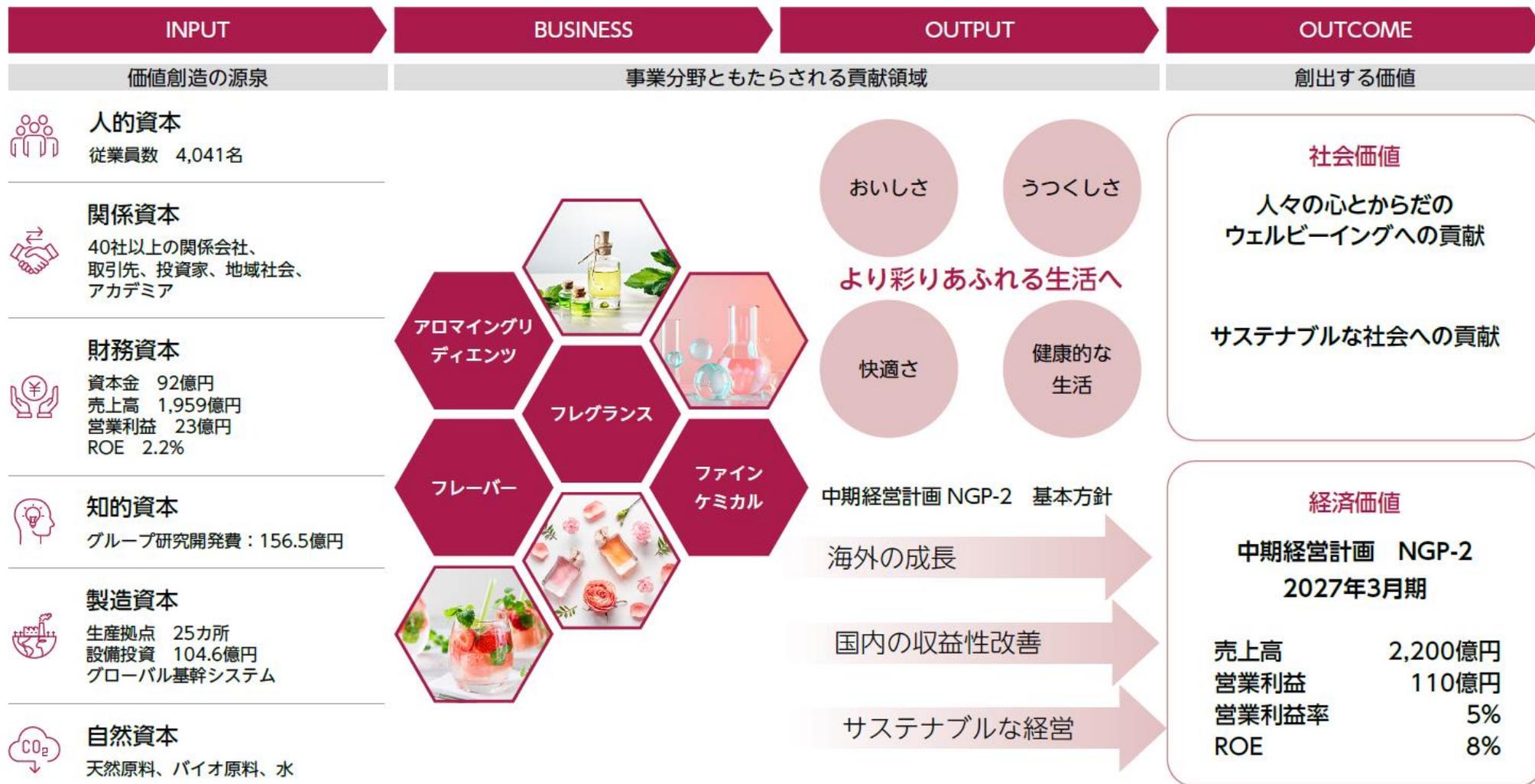
- ・ 取締役会・監査役会の紹介
 - ・ 社外取締役メッセージ
- 等

財務・非財務データ

- ・ 指標一覧
 - ・ 連結財務諸表
- 等

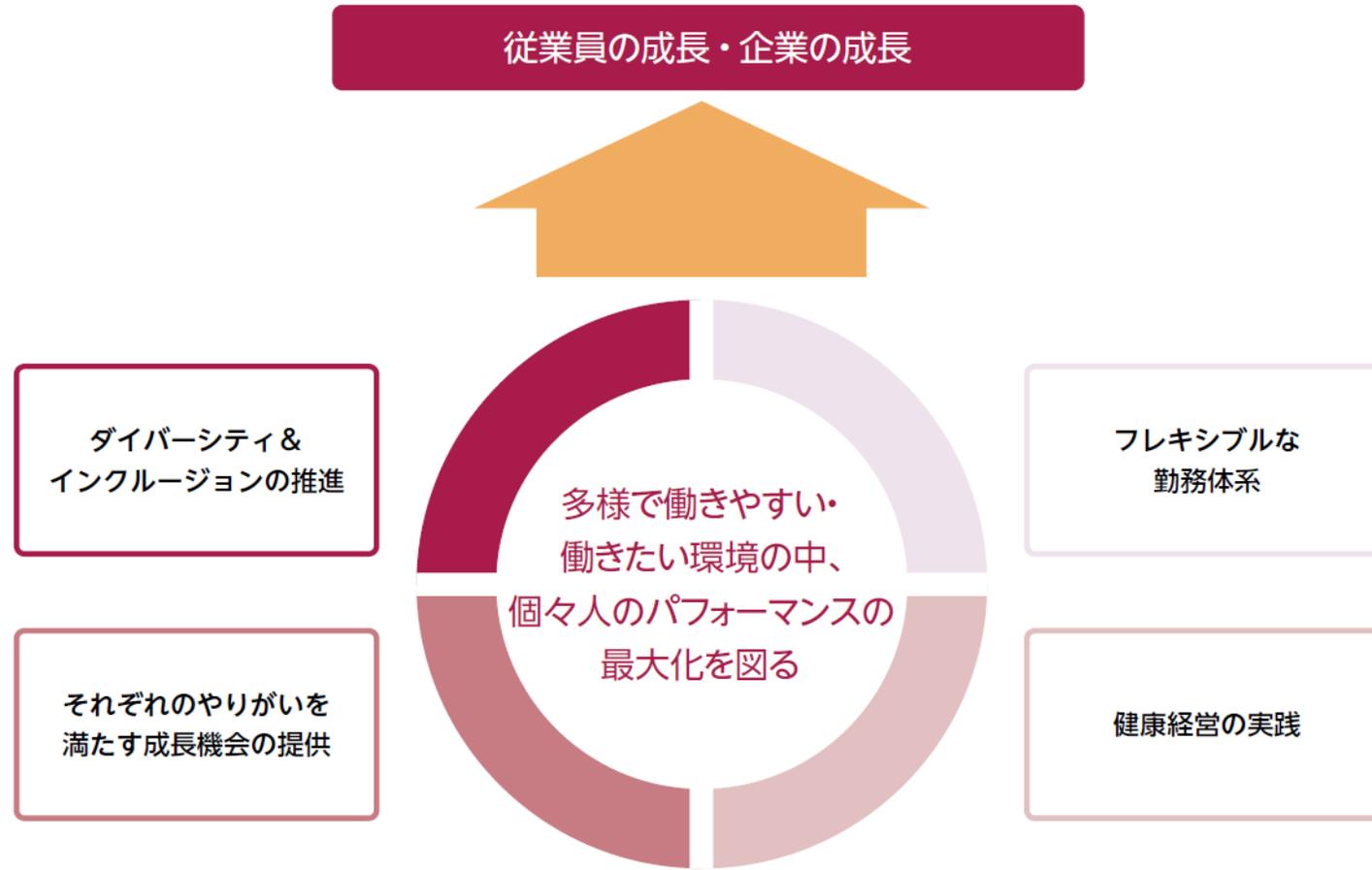
価値創造プロセス

事業を通じて、より彩りあふれる生活への貢献と持続可能な企業価値の向上に努める



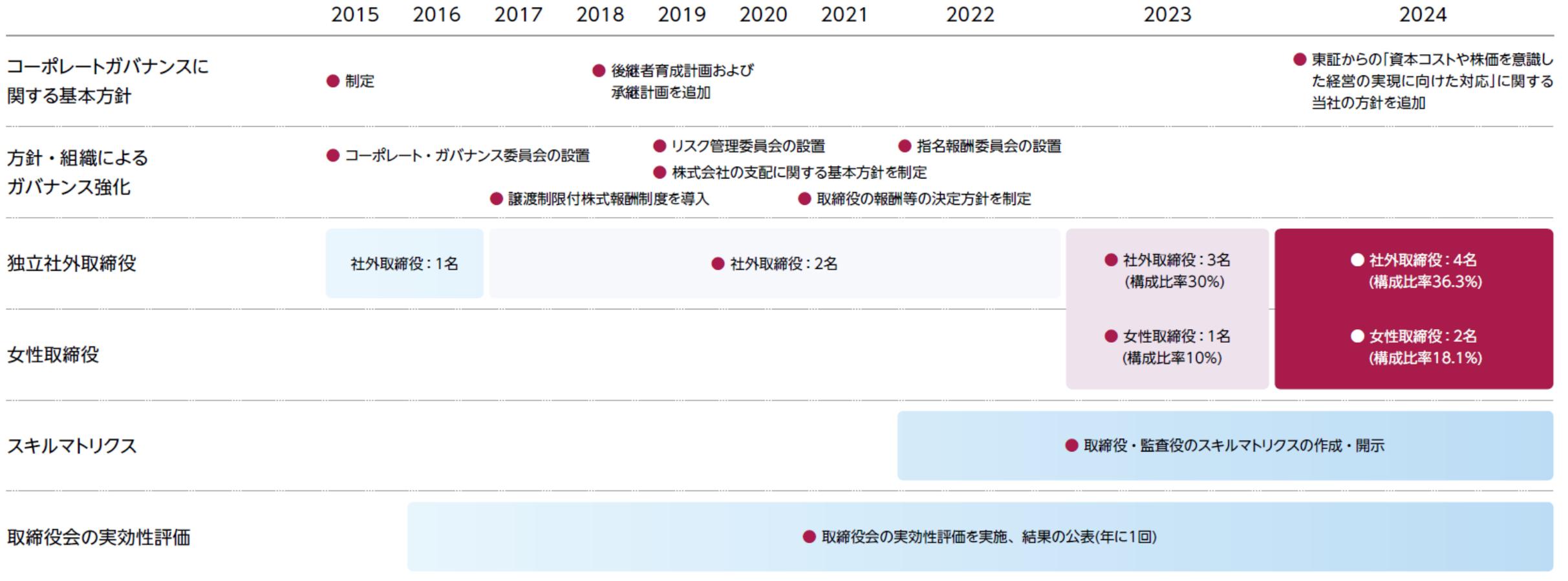
人的資本の価値最大化

「人にやさしく」をモットーに、働く仲間とともに企業の成長を図る



ガバナンス

コーポレート・ガバナンス強化の変遷



Move Forward



本日は、ありがとうございました。

※注意事項

本資料は、2024年11月20日現在の当社グループの事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載した意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

問合せ先：IR/広報室
TEL: 03-5744-0523 FAX:03-5744-0512
<https://www.takasago.com/ja>
E-mail: ir@takasago.com

V . Appendix

創業精神

技術立脚の精神に則り社会に貢献する

企業理念

香りを原点とする革新的な技術を通して、
新しい価値を創造し続ける

Vision 2040

人にやさしく、環境にやさしく

1. 多様な価値観を尊重する
2. 自然と共生し、人々の生活に彩りを与える
3. 夢と誇りを持って未知の世界へ挑戦する
4. 常に高い技術を追求する、かけがえのない会社

Vision 2040

NGP-2

基本方針

Key Success Factors

海外の成長

- 事業軸の成長戦略
- 新規顧客の開拓
- 売上総利益の拡大
- 海外サプライチェーンの最適化
- 先端科学による競争力のある技術の創成

国内の収益性改善

- 売上総利益の最適化
- 費用の構造改革
- 新領域の開拓
- フレーバー・フレグランス製品生産効率性の追求
- 合成事業生産体制の再構築
- 国内サプライチェーンの最適化
- 先端科学による競争力のある技術の創成

サステナブルな経営

- Sustainability2030の実行
- コーポレート基盤の強化
- 人的資本の価値最大化
- 業務遂行力の向上
- SDGsへの貢献を意識した製品の開発

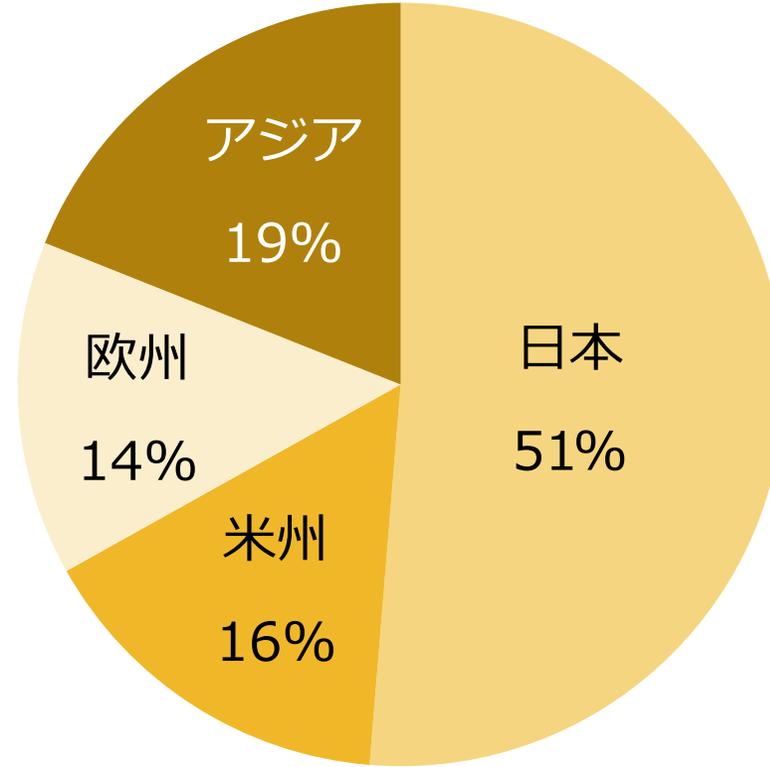
各事業の特徴

	フレーバー	フレグランス	アロマ イングredients	ファイン ケミカル
製品用途	飲料、製菓、スープ、 デザート等食品全般	衣料用洗剤・柔軟剤、 化粧品、芳香剤等	香料の原料 (フレーバー、 フレグランス)	医薬品中間体、 機能性材料、触媒、 農薬中間体
主要得意先	食品メーカー	日用品メーカー 化粧品メーカー	同業他社、自社使用	医薬品メーカー 電機電子メーカー
競合先	香料会社(同業)等	香料会社(同業)等	香料・化学メーカー、 天然品市場(メントール)	化学メーカー等

4つの事業の成長

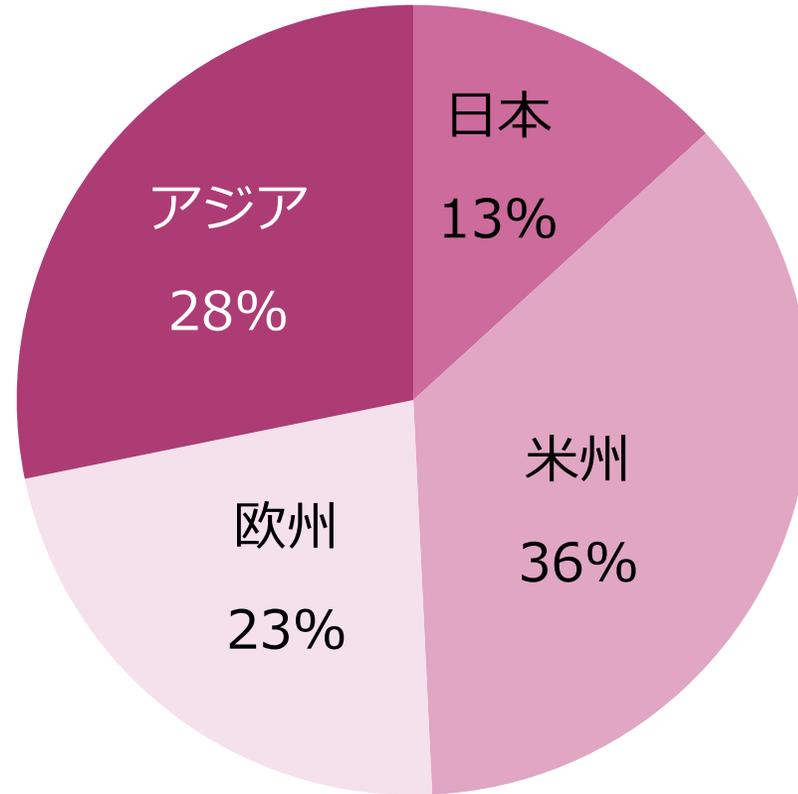
事業	方針、施策	通期予想(前期比)
<p>フレーバー</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 事業戦略や設備・研究投資を通じて、新規顧客の獲得や新興国でのビジネス拡大 製品ポートフォリオ適正化により、収益性の改善 各地域でのニーズを満たす素材/製品開発とグローバル連携による競争力を強化 	<p>【売上高】 +6.9% 【営業利益】 +173.2%</p>
<p>フレグランス</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 人的/技術のグループ内連携や設備・研究投資を通じて、パーソナルケアに注力。東南アジア、中南米、インドなど新興国でのビジネスを拡大 原材料費や製造経費におけるマネジメント力を強化推進 事業基盤の強化（人材、R&D、Consumer Insights & Market Research） 	<p>【売上高】 +14.1% 【営業利益】 -</p>
<p>アロマ イングリディエツ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 農産物分野などの新領域、新興国での既存ビジネス拡大 付加価値の高いスペシャリティ製品の拡充により収益性の改善 生分解性やバイオベース値などに配慮し、環境にやさしい新規品の開発 	<p>【売上高】 +3.6% 【営業利益】 +82.96%</p>
<p>ファインケミカル</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 医薬品中間体カテゴリーの拡大 新工場設備稼働による製品供給能力の強化 触媒技術や連続フロー技術の深化により競争力の向上 	<p>【売上高】 +74.6% 【営業利益】 +599.2%</p>

フレーバー事業 地域別 当社売上実績

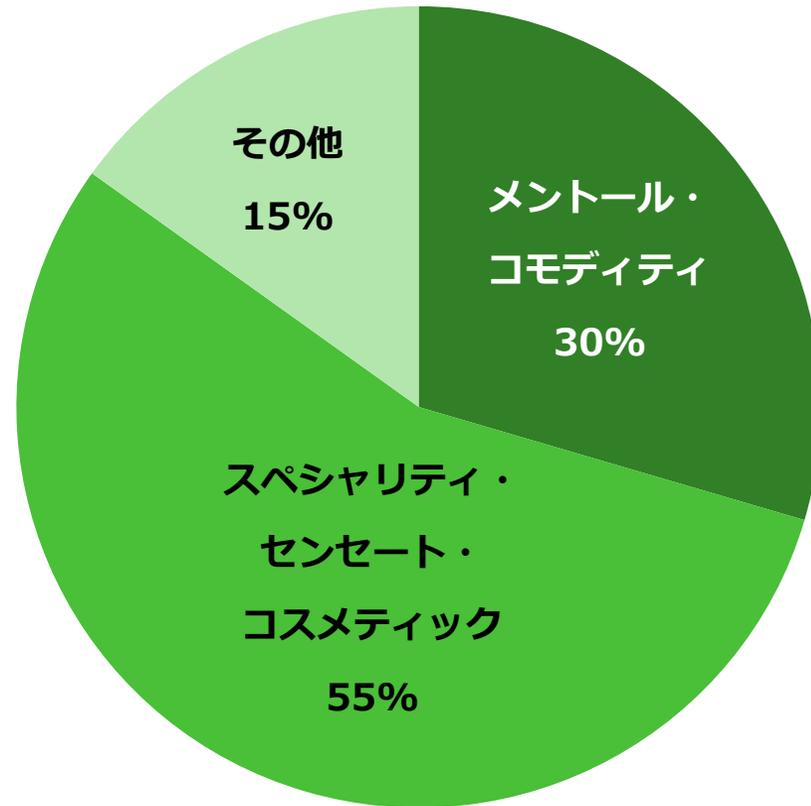


※2024年3月期

フレグランス事業 地域別 当社売上実績

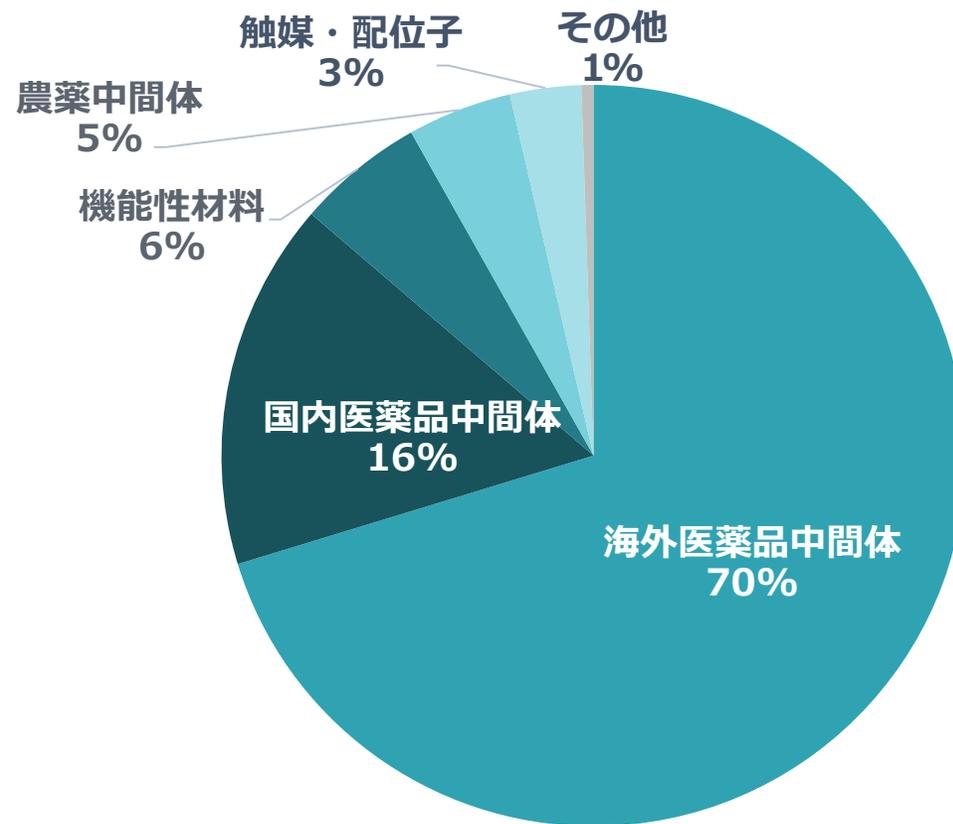


※2024年3月期



※2024年3月期

ファインケミカル事業 カテゴリ別 当社売上実績



※2024年3月期

2025年3月期 上期実績（単体 事業セグメント）

[単位：億円]

	売上高			営業利益		
	2024/3 上期実績 ※	2025/3 上期実績	前期比	2024/3 上期実績 ※	2025/3 上期実績	前期比
フレーバー	215	225	+4.7%	△5	△2	-
フレグランス	38	43	+13.9%	△5	△4	-
アロマイングリ ディエント	57	64	+12.3%	1	13	+1,200.0%
ファインケ ミカル	53	91	+70.9%	4	23	+480.5%
その他	9	9	+1.1%	6	6	△1.3%
合計	372	432	+16.0%	2	36	+1,450.0%

Point!

売上高：グループ内向け医薬品中間体の販売数量増加によりファインケミカル増収
 営業利益：ファインケミカル販売増及びアロマイングリディエント粗利率改善により増益

※ 2024/3上期実績において、フレーバーとアロマイングリディエント間で一部金額調整